

| | | | | | |
|------|-------|-----------|-------------|------------|--------|
| 講義名 | 中国語 A | | | 授業形態 | |
| 担当教員 | 白根 理恵 | 開講期・曜日・時限 | 後期 火曜日 4 時限 | | |
| | | 単位数 | 2 | 履修開始年次 | 1 年生 |
| | | | | ナンバリング・コード | CH1121 |

主題と概要

この授業では中国語の基礎を学びます。中国語はよく「発音よければ半ばよし」と言われます。発音が会といっても過言ではありません。中国語学習の最初の目標は、正しく発音ができ、聞き取れ、ピンイン（中国語音のローマ字表記）がきちんと読めることです。私たち日本人にとって中国語学習は、漢字を理解できることが大きなメリットですが、逆にデメリットになることもあります。たとえば、漢字を見たらなんとなく中国語を理解した気になり、発音を大事にしないということがよく見られます。それでは中国語を真にマスターすることはできません。中国語を音でキャッチし、理解できるようにしたいものです。テキストでは基本的な活用度の高い表現を学びます。半年の学習でも、けっこう使える言い回しを学ぶことができます。本学には中国からの留学生がたくさん在籍しており、中国語がいつでも使える恵まれた環境にあります。学んだ中国語をどんどん使って、留学生と積極的に交流してほしいと思います。

到達目標

1. 中国語学習を進めていく上での基礎的知識（発音、ピンイン表記）を身につけられるようになる。
2. 基本的な中国語を聞き、質問や状況に応じた応答ができるようになる。
3. 基本的な文の意味を理解でき、書くことができるようになる。

提出課題

必要に応じて課題提出を求めることがあります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

次の授業で必ず解答と解答形式に記載した形で解答を示す場合もあるし、時間がある場合問題形式を変えて復習させるときもある。どちらにせよ、課題のフィードバックであることを伝えるので学生側の混乱はないと考える。

評価の基準

評価の基準
 平常点 30%
 学期末試験 70%
 平常点は小テスト（10%）、課題提出（10%）、授業態度（10%）によって決まる。
 授業出席日数が3分の1を超えたと学期末試験を受けることができない。
 模定試験の宣告及び出席率は評価基準に入れない。

履修にあたっての注意・助言他

自己管理を心がけてほしい。
 質問は大いに歓迎。
 質問はメール等でしてほしい。
 他の学生も疑問の解消を共有できるようなしている。
 テスト直前にまとめプリントを必ず配布している。毎回のじゅごうご文法のみまとめだが、講の整理に役立ててほしい。
 毎授業後既習文法の確認、単文、会話文等の暗唱をすること。さらに次回の授業のための漢字、単語等の予習をすること。
 以上授業ごとに復習2時間、予習2時間が必要となります。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

必要に応じて配布します。教材は毎回配布。

授業計画

- 1.第1課 単母音・声調・子音・軽声 予習：1課に目を通す（2時間）
/復習：1課アクセントの音読練習、単語を復習する（2時間）
- 2.第2課 複合母音・鼻母音・発音のまとめ 予習：3課目を通す（2時間）
/復習：2課の知らない文法や単語を復習する（2時間）
- 3.第3課 何月何日・何時 予習：4課目を通す（2時間）
/復習：3課の知らない文法や単語を自習する（2時間）
- 4.第4課 お名前は・どちらの大学 予習：5課目を通す（2時間）
/復習：4課の知らない文法や単語を復習する（2時間）
- 5.第5課 だれ？なに？・これは-です 予習：6課目を通す（2時間）
/復習：5課の知らない文法や単語を復習する（2時間）
- 6.第6課 いる・ある 予習：7課目を通す（2時間）
/復習：6課の知らない文法や単語を自習する（2時間）
- 7.第3課～第6課のまとめ 復習：3～6課の知らない文法や単語を自習する（2時間）
予習：7課目を通す（2時間）
- 8.中間試験 予習：テストの間違った部分を復習する（2時間）
/復習：7課の知らない文法や単語を自習する（2時間）
- 9.第7課 どこにいる・AそれともB 予習：8課目を通す（2時間）
/復習：8課の知らない文法や単語を復習する（2時間）
- 10.第8課 どれくらいかかる・-するのが好きです 予習：9課目を通す（2時間）
/復習：9課の知らない文法や単語を復習する（2時間）
- 11.第9課 いくら・Aよりも-です 予習：10課目を通す（2時間）
/復習：10課の知らない文法や単語を復習する（2時間）
- 12.第10課 -したい・どこで 予習：11課目を通す（2時間）
/復習：11課の知らない文法や単語を復習する（2時間）
- 13.第11課 -できる・-していい 予習：12課目を通す（2時間）
/復習：12課の知らない文法や単語を復習する（2時間）
- 14.第12課 -している・-したことがある 予習：テストまとめプリントの知らない文法や単語を自習する（2時間）
/復習：12課の知らない文法や単語を復習する（2時間）
- 15.第7課～第12課のまとめ 復習：まとめプリントの知らない文法や単語を復習する（4時間）

授業の進度はクラスの状態に合わせて適宜調整します

授業形態（アクティブ・ラーニング）

| | |
|--------------------------------------|--|
| ア：PBL（課題解決型学習） | イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） |
| ウ：ディスカッション、ディベート | エ：グループワーク |
| オ：プレゼンテーション | カ：実習、フィールドワーク |
| キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合） | |

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

中国語の4技能（聞く、話す、読む、書く）について実用的かつ基礎的な語学力を習得するとともに、中国の社会や文化について理解する資質・能力を身につける。
 この科目は「在生から履修可能な外国語関連科目で、中国語の基礎力の向上を図るとともに、グローバルの視点から海外の社会や文化をより広く深く学ぶことができる。これらの能力は商学部生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

教材プリントを毎回配布
 教科書は不使用